

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日:2018/10/10

作成者:山本

会議名: 第4回ふるさとづくり委員会グループリーダー会議

日時: 平成30年10月2日(火)

場所: 速野会館小会議室

出席者: 山本光男、岡本善広、馬場敏明、伊藤潔、西村寛、高谷満廣、宮川美紀子、大井豊(8名)

出席者(行政): 速野会館 赤井館長、山本

議題

各プロジェクトの進捗状況および検討について、学区民のつどいについて、各プロジェクトの次年度以降の検討について、次年度以降のふるさとづくり委員会組織運営(試案)について、来年度の予算について、ハード整備事業について

会議要旨

内容

1 各プロジェクトの進捗状況および検討について

2 学区民のつどいでのPRイベントについて

- (1)Aプロよりサイクリング体験ブース、Cプロよりクラフト体験ブースを出展。
- (2)ふるさとづくり委員会展示コーナーでは、各プロジェクトの活用紹介を展示する。

3 各プロジェクトの次年度以降の検討について

各プロジェクトごとに事業を精査し、完結するもの、持続するもの、統合するものの整理を行う。ビジョン研究チームについては、H30年度を持って廃止する。

4 次年度以降のふるさとづくり委員会組織運営(試案)について

【意見等】

- ・各々のプロジェクトごとには懸命に取り組んでいるが、いまいち学区民全体には浸透していないのではないか。単なる一事業でしかなく、学区民全体でというイメージが持ちにくい。もっと組み立て方法自体に工夫が必要ではないか。A～Fどこでもいいとなると選びにくい。「北玄関口」という言い方自体、良いイメージではない(角の方というイメージがある)。速野学区は本来は滋賀県の中心に位置している。
- ・各プロジェクトで1つではなく、兼任で所属できるようにしてはどうか? 常時ではなくてもいいし、イベント時等のみ手伝うなど。やりたい活動があれば掛け持ちでもありでは?
- ・自治会長の所属は絶対でなくてもいいのでは? 自治会内で自治会長以外で2人選出でのいいのでは。
- ・もっと若者が参加できる委員会体制の方が良い。
- ・人数割はどうするのか。
- ・同じ事業を同じ内容、同じ人物を対象にまた5年間続けるのでは意味がない。
- ・学区民に対する「広報」の充実を。なぜこのような取組をしているのか、何を伝えたいか、を広報でもっと積極的に周知を図るべき。
- ・学区と自治会での活動が被って負担となっているのも事実。⇒整理が必要
- ・参加者もほとんど固定化されているのが現状。
- ・自治会長はオブザーバー的な立場でいいのではないか?
- ・語り部については、玉津学区では諏訪屋敷で実施したりしているので、会館ではなく、歴史的な建物等で開催してはどうか。

5 来年度の予算について

A～F ¥100,000 × 6 + 事 ¥30,000 → ¥630,000 で要求

6 ハード整備事業について

- ・ポケットパーク 市内主要施設看板1箇所253,800円 ベンチ2箇所276,480円 サイクルラック2箇所70,000円
- ・町名看板(78箇所)294,840円
- ・ホテル生息地通路整備工事560,000円
- 計1,455,120円

7 その他

- ・四季桜のつどい(Cプロジェクト) 平成30年12月8日(土)
- ・語り部会(Eプロジェクト)中野/美崎 平成31年2月9日(土)

決定事項

学区民のつどいのPRイベント、来年度予算要求について

次回以降について

各プロジェクトの進捗状況および検討について、次年度以降のふるさとづくり委員会組織運営について